

緑と風と光

健康

思いやり

希望

教育目標

「こころやさしく けんこうな子

みずからかんがえ やりぬく子」

学校だより



野幌小学校 ホームページ



江別市立野幌小学校

令和8年3月24日発行

感謝～令和7年度終了

校長

3月19日、穏やかな天気のもと、第126回卒業証書授与式が行われました。

卒業生の堂々とした歩み、はっきりとした返事、そして別れの言葉の最中に抑えきれずにあふれた涙、その一つ一つに、野幌小学校で過ごした6年間の思い、学んできたことが凝縮されており、胸が熱くなる式になりました。

式辞の中で、私は子どもたちに4つのことを伝えました。

- ① 最高学年としての責任を立派に果たしたことへの感謝
- ② 支えてくれた家族や地域への感謝
- ③ 全校児童がまるで兄弟のように仲の良い野幌小の伝統

そして最後は、本校で培った「人と関わる力」に誇りをもち、困難を乗り越えてほしいという願いです。

保護者、地域の皆様、そして教職員が一体となり進めてきた教育活動の成果が、あの素晴らしい卒業生の姿、式に結実しました。

私が本校に着任し、1年が経とうとしています。1年が終わろうとしている今、改めて野幌小は、「地域に根ざした学校」であるということを実感しています。

本校は来年度、130周年という大きな節目を迎えます。

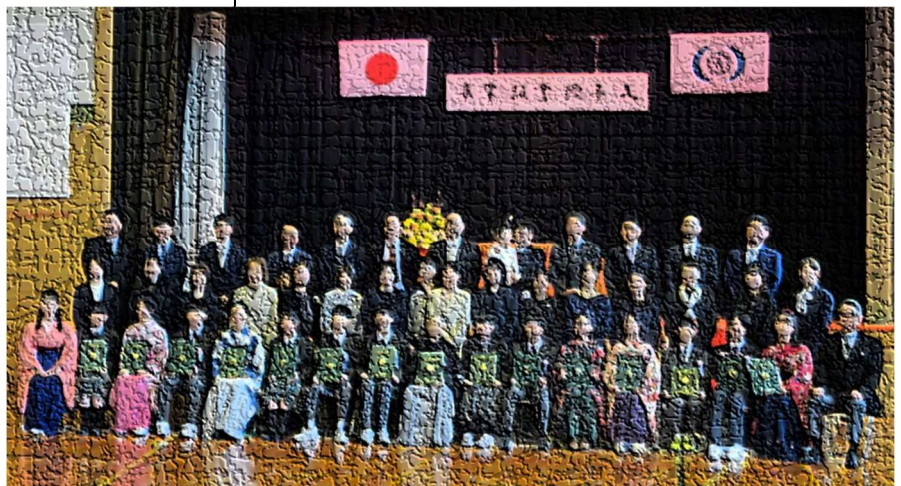
野幌小学校開校100周年記念誌『あかまつ』には、興味深いことが数多く書かれています。関矢孫左衛門指導のもと、北越

殖民社が野幌の地に入植したのは明治23（1890）年で、なんとそのわずか1年後の明治24（1891）年には、すでに「寺子屋式教育場」が開設されています。これは、すごいことです。

開拓の苦労は、現代の私たちの想像をはるかに絶するものだったに違いありません。日々の糧を得ることさえ困難な状態にあっても、先人は「子どもに教育を」という英断を下しました。その熱情がやがて明治29年（1896年10月15日）「野幌尋常小学校」設立へ、そして現在の「野幌小学校」へと繋がっていきます。

花壇、教材園の整備など、皆様からいただいている温かいご支援は、130年前に先人が抱いた「教育への願い」が、脈々と受け継がれているものに他ならないと理解しています。

この輝かしい伝統、地域に見守られているという誇りと感謝を肝に銘じて、次年度も子どもたちとともに歩んでまいります。今後とも、変わらぬご支援、ご理解をお願い申し上げます。



AIは必要に応じて使おう

（江別市）



人工知能（AI）はいろいろなところで広がっているが、私は使いすぎたり頼りすぎたりしないほうがいいと考える。

なぜなら、今までになかった新しいアイデアがゼロから考えるのは、人間にしかできないと思うからだ。AIだと、今あるものと同じようなアイデアしか出てこないような気がする。

そして全部をAIに任せると、文字を書く機会が減ったり集中力が低下したりして、人間の考える力がなくなるからだ。使えすぎるとよいことにはならない。

だが、人間がする時間のかかる仕事はAIを使うと、すぐに終わらせることができる。こういう場面では使った方が楽だ。

でも、もし仕事でミスをした時はどうだろう。AIにすべてを任せてしまっていたとしたら、誰も責任をとれない。

これらのことから、私は必要に応じて使った方が楽だが、人間の力をなくして仕事のミスの責任をとれない。AIは、使いすぎない方がいいと考える。

6年生を送る会



◆1年生から届けられたのは「大きなカブ」ならぬ「おおきなラブ」でした。



◆2年生とは様々な勝負。折り鶴対決、2分間のブリッジ対決もみられました。



◆3年生と一緒に連続チャレンジ。けん玉やかけ算など・・・ちょっとハラハラする場面もありましたが無事に!?成功しました。



◆4年生は「お絵描きですよ」。テーマは先生でした。上手に描けていましたよ。



◆5年生からはクイズ。「野幌小にある鳥のはく製の数は?」。当たり前に見ていたものですがなかなか難しく・・・そして「ダンス」も一緒に踊りました。



◆最後に6年からは「シルエットクイズ」。影になった姿が映し出されると「○○ちゃんだ!」と次々に声を上げ、大盛り上がりでした。最後には、器楽演奏も披露してくれました。



7年間の感謝を込めて

～恵庭市へ異動～

この度の異動により、7年間お世話になった野幌小学校を離れることになりました。私にとって、この7年間は「人生の初体験」がぎゅっと詰まった時間でした。

思い返せば着任したばかりの4月。「原始林に入るなら必須アイテムだよ。」と教えていただき、人生で初めて「つなぎ」を購入したのがスタートでした。ささやぶの中での本気のかくれんぼ、長靴で歩き抜いた遠足、そして手に汗握る崖アタック……。オオサギやエゾリス、アカゲラ、アラゲマの親子といった豊かな自然の仲間たちに囲まれ、日々を過ごしました。

地域の方々には、畑仕事のいろはを叩き込んでいただきました。「これじゃあ風が入るからダメだよ。」とマルチのかけ方を教わったり、苗の芽だしのコツを伝授していただいたり。ビニールハウスで育てたひょうたんが豊作だった喜びと、あの独特な匂いに耐えながら3か月かけてランプを作った苦勞(?)は、今では良い思い出です。

子どもたちとの日々も、笑いと言きに満ちていました。1年生の凧あげでバックネットに引っかけた凧を追いかけて登ったこと。掲揚塔に大きなこいのぼりを掲げてみんなで歓声をあげたこと。そして運動会。保護者の皆様の、圧倒されるほどパワフルな応援と、気合の入った仮装には、いつもこちらが元気をいただいていた。

この土地が、地域が、そして子どもたちが「先生」に育ててくれました。ここで学んだ「泥んこになっても楽しむ心」を胸に、新天地でも一歩ずつ、私なりに歩いていきます。

皆様、7年間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

のっぽろ実業（地域貢献）

今年も地域企業である「有限会社 のっぽろ実業」様に、学校横の教材園に積もった雪の排雪作業を行っていただきました。おかげさまで、教材園での畑作業を例年より早く始めることができます。日頃からの温かいご協力に、心より感謝申し上げます。



◆春休みの生活

今年も子どもたちは、学習や行事、日々の生活の中で多くの成長を見せてくれました。ご家庭の温かい支えにも心より感謝申し上げます。春休みは、1年間のがんばりを振り返り、心と体をゆっくり整える大切な時間です。新年度には、子どもたちが新たな気持ちで一歩を踏み出せるよう、安心して過ごせる環境づくりを進めてまいります。どうぞ良い春休みをお迎えください。

◆着任式・始業式・入学式

【前日登校】新6年生のみ

4月6日（月）※通常登校
8：35 ホールで説明
8：40 作業開始
10：20 ホールで終わりの会
10：30 下校（下校バス 10：57）

【着任式・始業式・入学式】

4月7日（火）※普通登校
8：50 着任式
9：00 始業式
10：40 在校生は下校（下校バス 10：57）
11：00 入学式

《江別市立野幌小学校》

TEL：382-2151

FAX：382-2152

mail：ebt-nopporo-sho-1@hokkaido.school.ed.jp

